

VI 普及宣伝活動

情報誌の発行や地元報道機関への情報提供等により、積極的にプロジェクトの普及宣伝活動を実施しました。

1 情報誌「赤谷の森だより」の発行

地元・近隣の地域住民を対象としたプロジェクトの普及宣伝のため、情報誌「赤谷の森だより」を第11号から第13号まで発行しました。各号の内容としては、下表のとおりです。

編集体制は、赤谷センターが事務局となり、赤谷プロジェクト関係機関により編集会議を開催しながら進めています。

発行部数は1万2千部で、みなかみ町の全戸へ各1部ずつ配布しています。また、図書館等の公共機関にも配置しています。

引き続き、赤谷プロジェクト地域協議会メンバーとの意見交換の機会なども利用し、地域の皆様が読みやすく興味を持てるような誌面作りに心がけ、プロジェクトの普及宣伝を図ります。

平成21年度「赤谷の森だより」主な掲載内容

	タイトル	執筆者 (敬称略)
第11号	コラム「持続的な地域づくりに取り組んでいます」	林 泉 (地域協議会)
	赤谷プロジェクト紹介「赤谷の森の溪流環境」	相原 慎二 (前赤谷センター)
	猿ヶ京関所資料館「上越風土記展」を見て	藤田 卓 (日本自然保護協会)
	赤谷プロジェクトに望むこと「里山と人との関わりのこれからを見つめて」	深町 加津枝 (京都大学准教授)
第12号	コラム「三国街道でお宝探し」	田中 直哉 (赤谷センター所長)
	赤谷プロジェクトの紹介「ープロジェクトが発足してからわかったことー赤谷の森のイヌワシ・クマタカ」	山崎 亨 (アジア猛禽類ネットワーク会長)
	赤谷プロジェクトに望むこと「次世代を育む活動の必要性」	利根川 太郎 (新治小学校校長)
第13号	コラム「ともに歩むことの大切さ」	茅野 恒秀 (日本自然保護協会)
	赤谷プロジェクト紹介「赤谷地域の国有林の計画づくりに向けて」	関東森林管理局計画課
	赤谷プロジェクトに望むこと「赤谷プロジェクトへの期待」	岡田 千穂 (新治中学校教諭)

66号	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・レッツ！サマースクールでの森林環境教育 ・「ムタコの日」で住民参加の森づくり
67号	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・茂倉沢治山事業現地取材について ・府中市緑の活動推進委員研修会 ・水生昆虫観察会の開催
68号	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・猛禽類調査について ・自然環境モニタリング会議の開催 ・JICA海外研修生の受け入れ
69号	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・JICA国別研修・インド環境森林省 ・茂倉沢治山事業・現地説明会の開催
70号	平成21年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・南ヶ谷湿地の堆積物調査 ・企画運営会議の開催 ・「赤谷の森を語る会」の開催
71号	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・1月の「赤谷の日」活動 ・植生管理WG
72号	月	<ul style="list-style-type: none"> ・現代都市文化研究会の視察 ・「赤谷の森自然散策」を開催 ・環境教育WGの取組み

3 メディアを活用した広報活動

赤谷プロジェクトのメディアを活用した広報活動は、主に全国的な対応を日本自然保護協会が、地元報道機関への対応を赤谷センターが担当し実施しています。

(1) テレビ

①群馬テレビ「JUST(ジャスト)6」

放映日時 9月18日(金) 18時～

群馬テレビのニュース番組で、コメンテーターとして出演した毎日新聞前橋支局長から赤谷プロジェクトの紹介、サポーター活動、茂倉沢治山事業の取組みについて解説がありました。放送に当たっては、事前に「赤谷の日」への密着取材もありました。



豊凶調査など「赤谷の日」の活動も紹介

②NHK「おはようニッポン」

放送日時 11月5日(木) 7時～

茂倉沢の治山工事現場から、テレビリポーターによる過去からの「赤谷の森」の移り変わり、溪流環境復元のための治山ダム中央部撤去の取組みの紹介がありました。



工事中の茂倉沢治山ダム

(2) 新聞

掲載された新聞記事

注：無断での複製、送信、出版、頒布等の著作権を侵害する行為を防止するため、冊子に掲載した各新聞社の記事や写真は省略しています。あらかじめ御了承ください。

4 ホームページによる広報活動

赤谷センターでは、赤谷プロジェクトやセンターの取組みをホームページで情報発信しています。イベント情報等のホームページのタイムリーな更新に努めました。

ホーム > 森林管理課の案内 > 森林管理課の概要 > 赤谷森林環境保全ふれあいセンター

**赤谷森林環境保全
ふれあいセンター**



〒378-0018
群馬県沼田市赤谷町3923-1
TEL:0278(00)1172
FAX:0278(24)5562
http://www.rinoya.maff.go.jp/kanto/kanto_akoya_fe/index.htm
アクセス
管理区分

新着情報

- 【2018年2月2日】情報誌について、最新号を掲載しました。 New
- 【2018年1月18日】新着イベント情報に、2月実施予定の「赤谷の森自然散策」を掲載しました。

赤谷森林環境保全ふれあいセンターからのお知らせ

新着イベント情報

赤谷の森の花よみ

- 赤谷の森の樹木、野草の花をカーテで紹介し、その特徴を説明しております。

情報誌について

情報誌による
環境教育の推進
2017.12.15の更新

サポーター募集

- 赤谷プロジェクトの調査活動に参加いただけるサポーターを募集しています。

赤谷センター活動報告

赤谷プロジェクト

赤谷センターについて

- センター案内図
- 経路図

活動内容

ご意見・お問い合わせ

リンク集

サイトマップ

ホーム > 森林管理課の案内 > 赤谷プロジェクト > 活動内容 > 活動内容(渓流環境復元)

活動内容(渓流環境復元)

渓流環境復元ワーキンググループ 豊かな渓流環境

治山事業による防災機能の向上と併せて蓄えられた渓流の連続性を回復させ、生物多様性の回復を行います。




人の手が入り難くなった渓流の深さを削り崩れやすき物が最も自然本来の姿に戻っていくよう樹伐しています。




イワノヘア 工事設計担当者からの説明を受けているWGOメンバー

防災機能を果たす一方で渓流の連続性を回復している治山ダムの中核部分を撤去して人工的な渓流の段差を解消、その後の土砂移動や生物の生息状況の変化を生態系「健康」ながら、防災機能と生物多様性の両立する治山事業を推進します。



中央部既設した治山ダム